

”Yamagata 幸せデジタル化”
～ニューノーマル時代の都市と働き方～

SWAT Lab

Team On Demand

Co Founder

矢野 圭一郎

矢野 圭一郎

KEIICHIRO KAY YANO

株式会社SWAT Lab
Co Founder 代表取締役



株式会社SWAT Lab 共同代表取締役

元Salesforce、元Google。クラウド/SaaS領域で10年。

2015年よりベルリンを拠点に拠点を移し活動。

Interacthub GmbHを創業しオープンイノベーション支援。

2020年より株式会社SWATLabにて”新しいチームのかたちを創る”をビジョンに、世界のトップ開発者をリモートチームしてチーム化、見積をAIアルゴリズムで自動化するプラットフォームの開発に取り組む。

スペイン IEビジネススクールにてMBA修了。

ドイツ、エストニアでBlockchain関連事業含み4社程起業。

共著書 ”ネクストシリコンバレー”「次の技術革新」が生まれる街」
日経BP出版

Google

salesforce

ie BUSINESS SCHOOL

Next Silicon Valley
ネクスト 次
の技術革新
が生まれる
街
GAFABATH
の次は?
シリコン
バレー
イスラエル、インド、ドイツ
の国々 第1回 第2回 第3回

interacthub

SWAT Lab

大都市離れとディグロバリゼーション

THE WALL STREET JOURNAL

有料会員登録

ホーム 経済 マーケット ビジネス テクノロジー 国際 日本 オピニオン・社説 ライフ

経済

ロンドン・NY・香港、共通する「暗い未来」

グローバル化が後退している世界では、国際金融センターとして重要性が低下している

THE WALL STREET JOURNAL

U.S.

Millennials Continue to Leave Big Cities

Census figures show smaller drop in young urban residents than previous years, but many still leaving for cheaper housing, better schools

By Janet Adams and Paul Overberg

Sept. 26, 2019 12:01 am ET

SHARE TEXT

172

Large U.S. cities lost tens of thousands of millennial and younger Gen X residents last year, according to Census figures released Thursday that offer fresh signs of cooling urban growth.

COINTELEGRAPH JAPAN

2020年04月09日

新型コロナで大都市時代の終焉か 仮想都市出現も？【アフターコロナ】



ミレニアル世代の世界的な大都市離れ

グローバル都市がハブとしてリードする世界から場所を問わず自分のライフスタイルやワークスタイルに合わせて価値を作っていく世界観へ

都市の役割はフィジカルな体験ベースのエンターテインメントに集約されていく

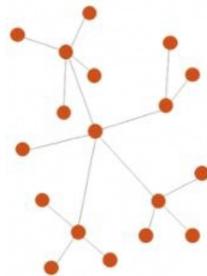
- 働き方改革
- 地方移住
- リモート&ブレンディッドワーク
- ノード型のネットワーク

時代はグローバルからハイパーコネクトへ

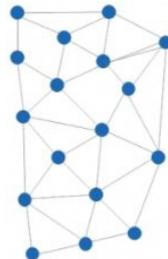
ネットワークサイエンスと進化生物学の観点から
オンラインコミュニケーションの進化と国際的な移動が容易になりすぎると
グローバルハブを経由せずに人・情報・お金が動く
MIT Media Lab Jose Balsa-Barreiro氏



中央集権 / ローカルな世界
(～1999年頃)



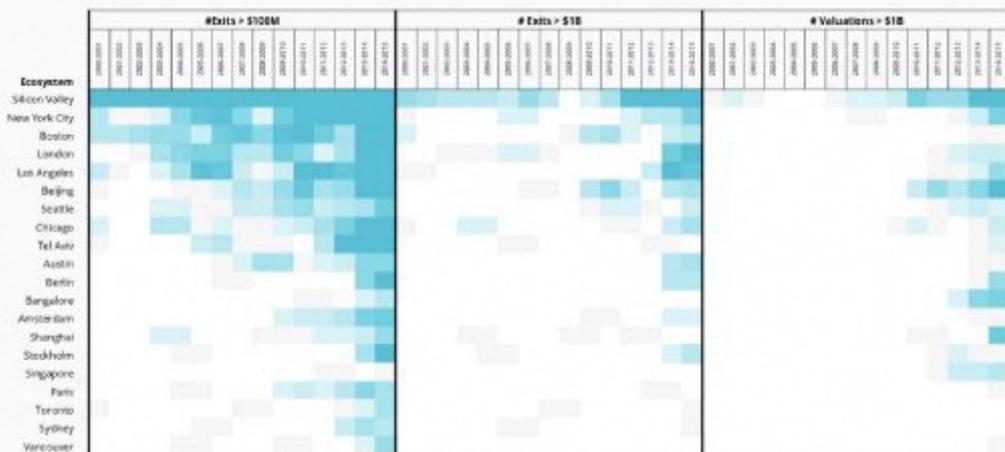
複合中央集権 / グローバルな世界
(～2019年頃)



ハイパーコネクトな世界
(2020年～)

世界のイノベーションセンターの分散化

シリコンバレーの一極集中状態から世界各都市に分散
イノベーションセンターが繋がり
人とモノが常にリモート&リアルで繋がっている状態



	Ranking		Performance	Funding	Market Reach	Talent	Startup Experience	Growth Index
Silicon Valley	1	0	1	1	1	2	1	4.2
New York City	2	0	3	2	3	7	4	4.5
London	3	▲ 3	4	4	2	10	5	4.8
Beijing	4	NEW	2	5	19	8	2	4.4
Boston	5	▼ -1	6	6	12	4	3	4.0
Tel Aviv	6	▼ -1	9	8	4	11	7	4.5
Berlin	7	▲ 2	7	9	6	5	10	4.6
Shanghai	8	NEW	8	3	10	9	13	5.5
Los Angeles	9	▼ -6	5	7	15	14	11	4.2
Seattle	10	▼ -2	12	13	14	3	6	4.5
Paris	11	0	14	14	9	16	8	4.2
Singapore	12	▼ -2	16	16	11	1	20	4.6
Austin	13	0	15	11	18	6	9	4.3
Stockholm	14	NEW	17	20	8	18	12	5.3
Vancouver	15	▲ 3	19	19	7	15	15	4.3
Toronto	16	▲ 1	18	12	5	20	18	4.7
Sydney	17	▼ -1	20	10	13	12	17	6.3
Chicago	18	▼ -11	13	15	20	13	14	3.9
Amsterdam	19	0	10	17	17	19	16	4.8
Bangalore	20	▼ -5	11	18	16	17	19	4.7

ハイパーコネクト時代の新しい都市の例：ベルリン

世界に広がる分散型スタートアップ



- ロンドンの1/6のGDP(創造産業が約20%)
- 大企業の本社機能ほぼ無し
- ニューイーストでソフトウェア開発(仕入れ)
- ロンドン・NY・パリ等でビジネス(マネタイズ)
- 投資家は国内より海外勢(米・中・アラブ)
- **スイス/ルクセンブルグ/ジブラルタル等”新規事業に柔軟な法律と税制を持つ国”を利用した法人と分散型リモートチーム形成**
- 人材流動性を上げる高度人材/フリーランスプール
- スタートアップでは多くの社員(特に開発者)は東欧やアジアからの国外出身者

R&Dとクリエイティブ産業しかない、別の都市機能はリモートとLCCでつながるノード型の都市

ロケーションフリー時代 起業の障壁はファイナンス(自身の経験から)



600名の海外で事業を営む日本人経営者と話すとき、日本企業から得た資金を運用している経営者を除き、起業家としてゼロから海外で事業を立ち上げた日本人の成功パターンはおおよそ3つ

人材ビジネス / 飲食ビジネス / 土業

日本人に限らず”現在のシステム”では外国人は各国のファイナンスシステムが適応されないケースが多く

ファイナンス型×⇒PL型ビジネス○になる

中国と米国がグローバル製品を生み出すかは逆説的に巨大なドメ市場があるため

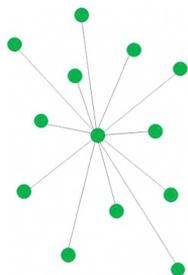
Financeの”ハイパーコネクト化”の失敗



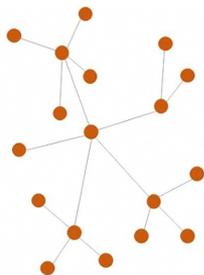
2015～2017年頃スイスのツークやベルリン等欧州都市を中心多くのスタートアップがICOを試みた

当時の黎明期において詐欺的なプロジェクト発生し、KYC関連サービスも多く立ち上がった

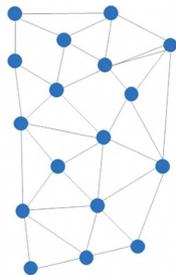
日本に限らずスタートアップと呼ばれる企業がドメスティック市場を目指すのは、現在資金の動きの多くに金融の規制や追加課税がかかる仕組みがあるから



(a)



(b)

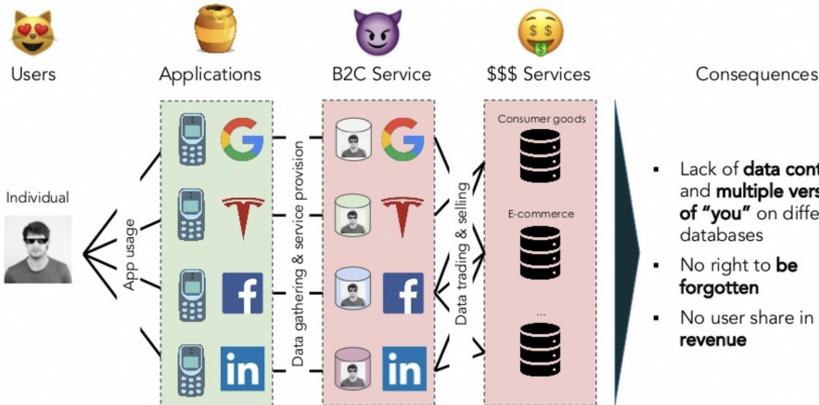


(c)

ICO(広義のSTO, IEO含む)はHyper Connectedの世界の資金移動のあり方を試みたもの

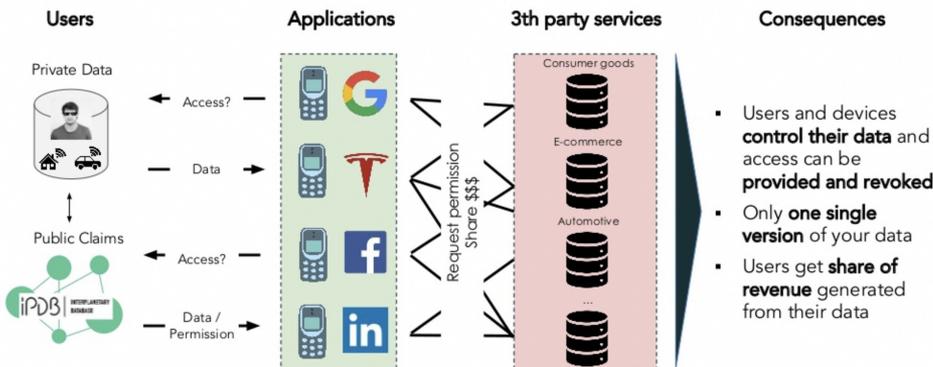
2030年に向けて変化が期待できる領域

Web3.0とデータビジネスの今後



これまでのデータビジネス

GoogleやFB等のモバイル・アプリケーションから個人データが収集され、消費財のマーケティングやEコマース向けに転売される。データの所有者はGoogleやFB等のIT企業である。

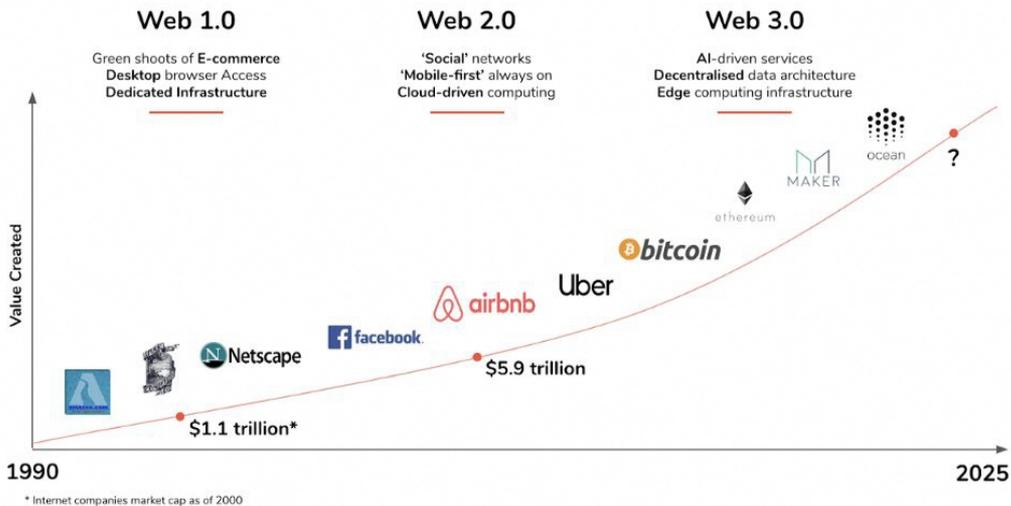


これからのデータビジネス

GoogleやFB等のモバイル・アプリケーションに個人データを”渡す権利をデジタル化”しGoogleやFBが消費財マーケティングやEコマース向けにデータを転売する場合、”シェアを許可する”事で個人が利益を得ることができる。データの所有者はIT企業でなく、個人である。

AIはWeb3.0の定義の一部(2030年を見込んで) その特徴と課題

The Evolution of the Web



Source: Fabric Ventures

Web3.0特徴

- 1.AIがドライブするのが基本であり
- 2.分散型組織のコンセンサスで意思決定され
- 3.IoT物理的なエクスペリエンスを提供する

今は過渡期だが重要なのはデータの位置づけ / 所有者をどう定義するかがリードする3地域によってデータの取り扱いポリシーが大きく異なっている

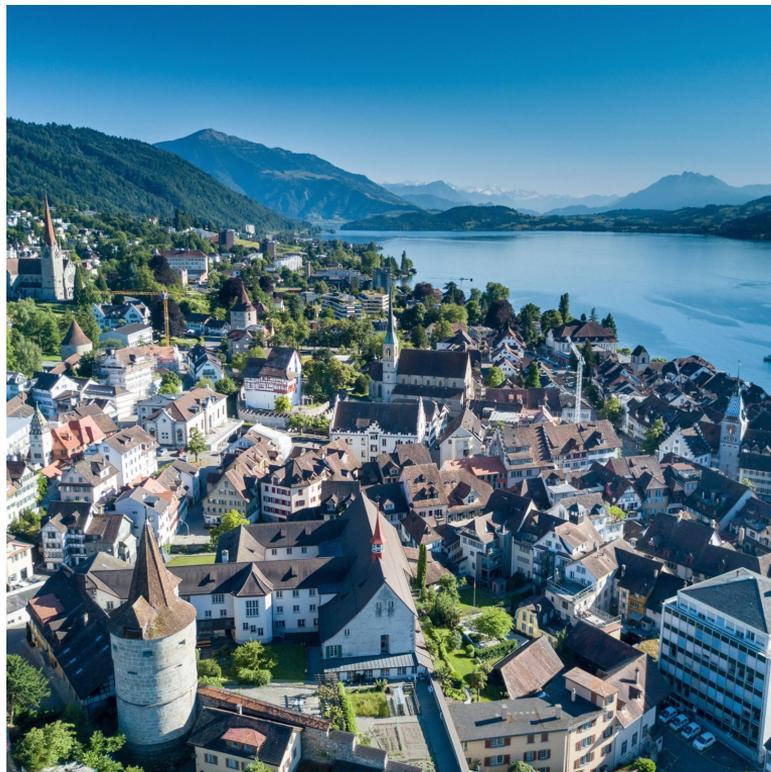
今後2030年に向けてのAI-IoT/ビッグデータの発展、方向性にデータポリシーの覇権争いが影響

米/中/欧で異なるデータプライバシーの考え方



	米国	中国	EU
データの主な管理者	企業	国家	個人
主なプレーヤー	GAFANAなどの 巨大テック企業	BATHなど巨大テック企 業、国家	WEB3.0関連の スタートアップ群 欧州委員会
ユーザのデータへの 感覚/意識	便利で効率的であれ ば無料でデータをどん どん渡して良い。	データ国家が管理する ことで安全性と利便性 が高まる。	データ保護はユーザ の権利である。企業 や国家に利用されたく ない。
文化圏	デジタル バイナリーコード	東洋 表意・象形文字	西洋 アルファベット

山形県はニューノーマル時代のネクストツークになれる??

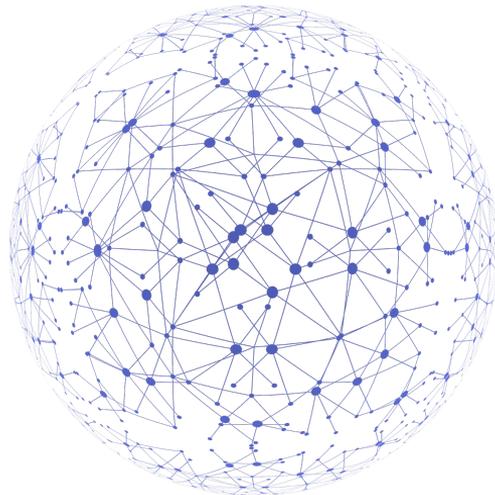


スイスのツーク州は古くからのタックスヘイブン:キャピタルゲイン税のみで所得税がなし。売上が80%以上海外の場合は更に下がる。税率はスイスの州の中でも特に低い。

チューリヒ空港からも遠くなくアクセスも良い。

イーサリアム財団、カルダノ財団、テゾス財団、リスク、ディフィニティー、中国暗号通貨マイニング大手のビットメイン等業界の大御所が拠点を構える。よってクリプト業界の資金とネットワークが集まりやすい環境となっている。

SWAT Lab



**世界のトップ開発チームを一発検索
最速”見積 / 評価 / 発掘チーム化”を実現
リキッドワークフォース・プラットフォームが
DXを加速する**

SWAT Lab
Team On Demand

VISION

”新しいチームのかたちを創る”

New Normal 時代の新しいチームのかたちは

1. 自由に（エンジニアがチームの価値を決める）
2. フェアトレードに（No More 中抜き）
3. シンプルに（トップチームと見積/実績を一発検索）
4. データドリブンに（世界のテックトレンドが一網打尽）

世界で加速するチームのSaaS化 マルチポートフォリオ化による予測困難な時代にFIT

How we vet Support About us Case Study Become a Partner Squads

Offshore, on point.

A platform for hiring remote dev teams

Enter the technologies to find the best matching engineers

Popular searches: [React](#) [Angular](#) [Node.js](#) [Ruby on Rails](#) [Python](#) [React Native](#) [Java](#) [.Net](#)

You Team

2018年にY Combinatorのアクセラレータプログラムを卒業したYouTeamは、オフショア人材のマーケットプレイスを提供

remote

How it works Pricing About Resources Talk with us

Build your team, anywhere in the world.

We take care of global payroll, benefits, compliance and taxes, so you can focus on your people.

Remote

世界中の優秀な開発者を正社員や契約社員として採用できるグローバルプラットフォームを提供

gigster

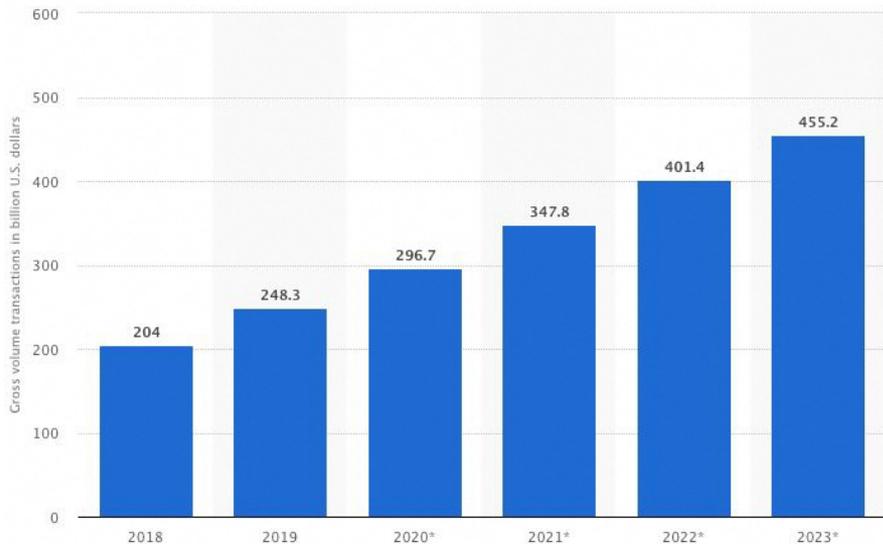
Your new team is talented.

Gigster

顧客企業はGigsterが組成した開発チームにアプリ・ウェブサイト開発を丸投げでき、進捗管理をPMから随時報告を受けるだけの外注開発サービスを提供

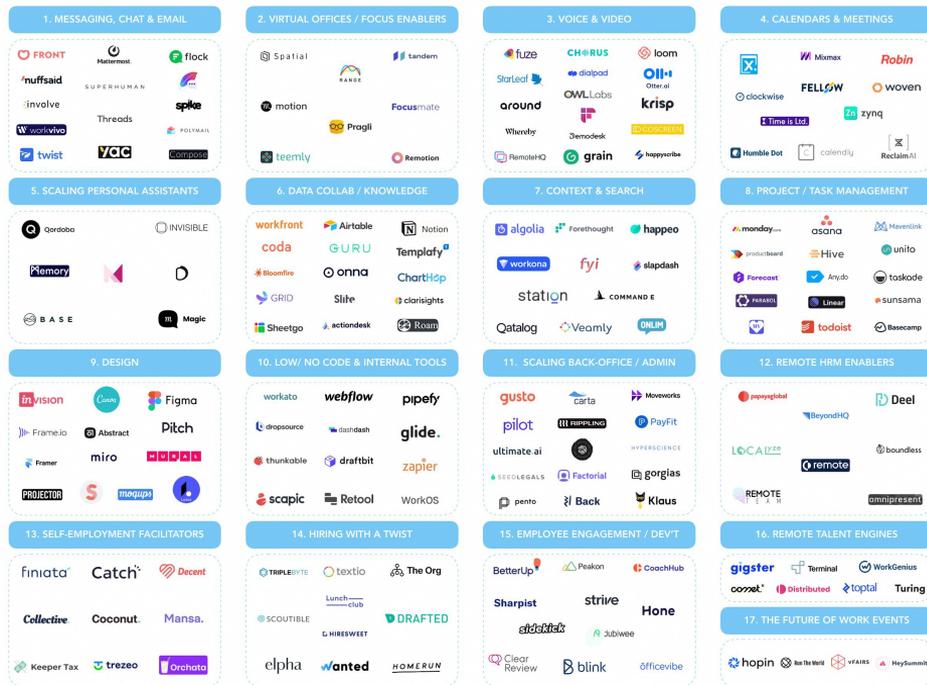
The Future of Work 市場規模

- 市場の世界規模は2023年に約50兆円規模
- リモート時代のツールや人材調達も含めた”未来の働き方市場”



Source: Statista 2020

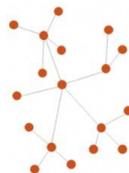
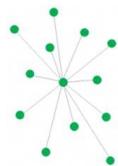
THE FUTURE OF WORK, by @pinverr



Source:

<https://medium.com/@Pinver/mapping-the-future-of-work-startup-investor-ecosystem-2db5049f2c86>

ハイパーコネクト時代のFuture of Workとは？



年代	～1999年頃 ローカルハブ / Work1.0	～2019年頃 グローバルハブ / Work2.0	2020年～ ハイパーコネクト / Work3.0
企業例			
抽象概念	局所的な中央集権 クライアント・サーバー 作業生産性重視型オフィス	複合的な中央集権 クラウド GAFA / BATH キャンパス型ホラクラシーオフィス	中央の無い自律分散型ガバナンス DeFi / DAO バーチャルワークスペース
中心	日本→東京 イギリス→ロンドン 中国→北京 その他国別の大都市	世界 LON NY / Silicon Valley Paris Tokyo Singapore	ロケーションフリー Anywhere / Any time zone
重視されるもの	権威&階層	情報&トラクション	ネットワーク&フェアトレード

チームのSaaS化を統合する見積エンジン ”**SWAT Lab** スカウター”

日本のトップエンジニアスクール / 先端人材育成プロジェクト



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



AI Quest
課題解決型AI人材育成

世界のトップエンジニアス
クール



GITHUB API
フィルタリングアルゴリズム

チーム化アルゴリズム
チームの評価システム

SWAT Lab
スカウター
見積/発掘/
チーム化

世界のハイスکیل
フリーエンジニアチーム

- ロケーションフリーな新しい生き方
- 世界のトップタレントとチームアップ
- 個でなく、チームで評価



世界のトップ開発会社



本当のところどこが一番すごいのか？

- スキルと評価、コストの見える化
- スター開発会社の発掘
- 東欧 / アジア / 南米 / 日本 etc...

SWAT Lab のソリューション: 見積/トップチーム調達を高速化

世界トップクラスのIT学校



世界トップクラスの開発会社



トップクラスのFree開発者



SWAT Lab
Team On Demand

人材DB
見積アルゴリズム
チーム化アルゴリズム

SWAT Lab スカウター
UX/UI
"プロジェクト条件を入力
発検索"

- 見積/期間
- チーム/実績

企業のリアルな DX課題のDB

- 業界/業種別課題
- テックトレンド
- 予算額/ROI
- プロジェクト別平均期間
- Region
- Vertical

ビジネス部門の課題

経営企画

DX部門

コンサルティング部門

PM/営業部門

TEAM



下野 健佑
Co-Founder

東京工業大学大学院にてデータ通信量分析研究室在籍後、学生起業家を経てテクノ音楽の首都ベルリンに拠点を移しDJグループ KIDS ON WAXを設立。クラブシーンの最前線で活躍。日本酒ビジネスとアンダーグラウンドを融合させたJapanese Sake Festivalをベルリン/ロンドン/北京等で主催して1万人規模のイベントに成長させる。その後東京に戻りSWAT Lab共同創業。



矢野 圭一郎
Co-Founder

Salesforce, Googleにて成長期のSaaS事業に携わる。IEビジネススクールMBA取得後、ベルリンに拠点を移しオープンイノベーション支援のInteracthubを創業、エストニアでブロックチェーン事業等4社程起業。SWAT Labでは分散化時代の働き方プラットフォーム構築を目指す。共著書ネクストシリコンバレー”日経BP出版。



飯沼 純
Advisor

Salesforce日本法人設立時より15年間SaaS普及の第一人者として活躍その後、株式会社Cogent Labsを共同創業。人工知能活用のTegaki(AI-OCR) KAIDOKU(自然言語理解)等展開し企業におけるAI活用のモデルケースを多数生み出し日本を代表するAIスタートアップの1社に成長。Nuuma.Inc代表。



アライアンス・パートナー 2020年9月現在

オープンイノベーション、ビジネスデザイン、国際事業提携の法務サービス



AI / IoT / Blockchain先端IT開発に特化
ウクライナを中心としたトップ開発者集団
ドイツ・UK・イスラエルの大手顧客で開発実績
主要クライアント: Daimler、Audi、VW、
日本の大手企業等



山形県に期待したいこと

- 定住先でなく、世界の企業が”法人だけ”を置く拠点（ツークモデル）
- 鶴岡の先端生命科学研究所のようなR&D拠点
- ワークーションや分散型チーム拠点
- 日本トップクラスの新興大学の拠点（秋田国際教養大学モデル）



SWAT Lab

Team On Demand

Co Founder

矢野 圭一郎